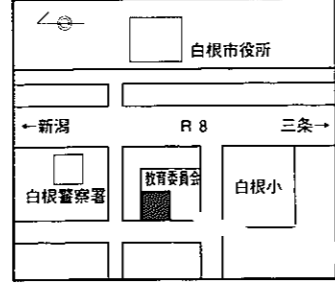
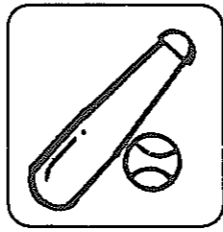


カルチャーセンター ☎373-6311
 上下諏訪木1811 開館=9時~22時
 休館日=第3月曜日 ランニングコース、トレーニングルーム、柔道場ほか

しろね大風と歴史の館 ☎372-0314
 上下諏訪木1770-1 開館=9時~17時
 休館日=水曜日 風のミュージアム、3D映像室、風工房、風洞実験室ほか



市立図書館 ☎373-2810
 開館=9時~17時 (火・金は20時まで)
 休館=第2・4月曜
 と祝日 貸し出し=1人1回4冊以内、2週間まで



文化・スポーツ



大 第10回記念大会 白根マラソンに 参加しませんか

恒例の白根マラソンが行われます。新緑の白根路を駆け抜けてみませんか。今回は第10回を記念して有名ランナーの招請、豚汁無料サービス、地元特産物が当たる大抽選会などのイベントが盛りだくさん。ぜひ参加ください。

■とき 5月12日(日) 受け付け=午前7時30分~ 開会式=8時30分~ スタート=9時30分 ■ところ 開会式=白根小学校グラウンド スタート=産業厚生会館前 ■距離・種目 2キロ=市内小学6年生 5キロ=中学生、一般 12キロ=一般(40歳以上・未満) ハーフ(21・1キロ)=一般男子(40歳以上・未満)

※一般には高校生を含みます

■参加費 小学生=500円 中学生



=1,000円 高校生・一般=2,000円 申し込み時に納入 ■申込期限 3月29日(金) ■その他 主催者側で一日傷害保険に加入しますが内部疾患に起因する傷害等には適用されません ■申し込み・問い合わせ カルチャーセンター ☎373-6311

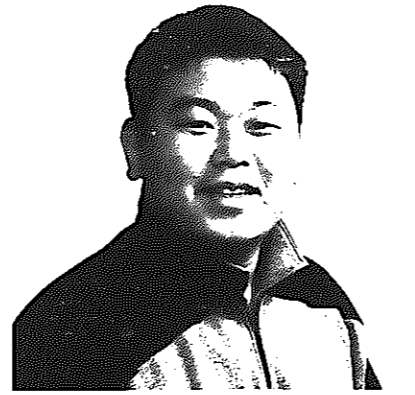
講 スポーツ講演会 大久保博元氏(元巨人軍)を招いて

市と白根青年会議所では、元巨人軍の選手で現在タレントとして活躍中の大久保博元さん(通称=デーブ大久保)を招いて講演会を行います。「話すこと大好き。話し出したら止まらない」という大久保さん。演題は「チャンスを生かせ、夢大きく」。どんな話が飛び出すやら。家族、友達とお誘い合わせておいでください。

入場は無料ですが入場整理券が必要です。必ずお求めください。

■とき 3月21日(木) 開場=午後5時30分~ 開演=午後6時30分~ 閉演=午後8時予定 ■ところ カルチャーセンター ■演題 「チャンスを生かせ、夢大きく」 ■入場料 無料 ■入場整理券取扱所 カルチャーセンター、中央公民館、教育センター、各生活センター、図書館、市役所市民

生活課、青年会議所 ■問い合わせ カルチャーセンター ☎373-6311



大久保博元 茨城県出身。1984年西武ライオンズ入団。92年巨人軍へ移籍。持ち前のバッティングとガッツで日本一に大きく貢献した。現在、デーブカンパニーを設立し、タレントとして各種のテレビ番組で活躍中。

●●●3月のカルチャーセンター●●●

- 10日(日) 白根市小学生卓球大会
 - 17日(日) 生協婦人バレーボール大会
 - 20日(水) 白根市剣道大会
 - 21日(木) スポーツ講演会(大久保博元氏)
 - 24日(日) 県下柔道大会
- 休館日 第3月曜日(3月は18日)

催 しろね大風と歴史の館 ミュージアム オカリナコンサート

しろね大風と歴史の館と、歴史の館友の会の共催で、佐和田町出身の陶芸作家、池田篤二さんを招いてオカリナコンサート「朱鷺オカリナの世界」を開きます。

池田さんは日展に5回連続入選、日本工芸展では現代工芸賞を受賞。陶芸活動の傍ら、トキの形をしたオカリナを作って作曲・演奏を続けています。家族、友達とお誘い合わせてご来場ください。

■とき 3月3日(日) 開場=午後5時~ 開演=午後6時30分~ ■ところ しろね大風と歴史の館 ■チケット 大人1,000円、子供500円(当日はそれぞれ200円増しになります) ■チケットの取扱先・問い合わせ しろね大風と歴史の館 ☎372-0314

文化スポーツ振興基金に 寄付をありがとう 団体…菱潟新田町内会、卓球愛好会 (2月6日現在・敬称略)

●スポーツ 豆知識 正しいシューズの選び方

全体にゆとりがあり、指が自由に動くもの

横幅が十分にある
つま先にゆとりがある
かかどの部分(ヒールカップ)がしっかりしたもの
ソールが厚めでクッションのいいもの

もうすぐ春です。「新しいランニングシューズを買おうかな」と思っている人も多いでしょう。でもちょっと気を付けて。ランニングはシューズが案外ポイントです。知らずに窮屈なシューズを履いていませんか。シューズは全体にゆとりがあるものを選びましょう。横幅が十分にあるもの、特につま先部分がゆったりとして指が自由に動くものが最適。「キュツ、キュツ、キュツ。」素晴らしいバネが生まれます。正しいシューズでけがのないランニングを心掛けましょう。

図書館情報

●今月の受け入れ図書

▶麦の道/椎名誠 ▶死がやさしく笑っても/北方謙三 ▶いな吉江戸暦/石川英輔 ▶デビルズ・アイランド/西村寿行 ▶花の寝床/松本梢子 ▶「我輩は猫である」殺人事件/奥泉光 ▶天の瞳 幼年編1・2/灰谷健次郎 ▶川島甚兵衛覚書/筆内幸子 ▶蟹喰い猿フーガ/船戸与一 ▶小説出雲王朝挽歌/三枝和子 ▶ウェイ・バスト・クール/ジェス・モウリー ▶姉なる月/スー・ハリソン ほか多数

新津きよみ 血を吸う夫

美人妊婦モデルの殺人。事件を追ううち明らかになる異常な人間関係。現代人が忘れがちな血の問題に迫る。

ポスト・オフィス

チャールズ・ブコウスキー 著者が10年間勤務した60年代の郵便局。過酷で不条理な仕事を、彼独特の文体で悲喜劇としてつづった傑作。



●カルチャーセンター 初級テニス教室 本格的シーズン前に 基本をみっちり

カルチャーセンターでは二月十四日から5回コースで初級テニス教室を開催中。会場のメインアリーナではボール、ボールとボールを打つ音が心地よく響いています。

「冬の運動不足解消に最適」、「春から本格的にテニスをしたと思う」と若い女性から好評を得ているこの時期のテニス教室。約四十人の参加者は市テニス協会員の指導を受けながら、ストロークを中心とした基本練習に汗を流しました。テニス歴二年という女性は「なかなか上達しないので、もう一度初心にかえって基礎をやってみよう」と思って参加したんです。協会の人も優しいし、アットホームな雰囲気楽しんでやっています」と話していました。

あなたも風博士.....

文・田村和雄(大風と歴史の館 運営委員会委員長)

木の葉風(タイ)

4年ほど前、バンコクでタイのタイの各地の風が一堂に集められた風展を見る機会があり、その多様さに驚きました。その中に、木の葉が張り付けてあったという骨組みだけが残されている風がありました。

南太平洋で魚釣りに使われた木の葉風は有名ですが、タイのものはありませんに知られていませんでした。で、ねだって作ってもらいました。「タイでもへき地にしか残されていないし、作者もほんのわずか。しかも高齢で条件は厳しいが、作ってもらうよう頼んでみる」と主催者のナタヤさんが約束してくれました。風は、年余を過ぎ、バンコクの文化センターを経由して送られてきました。半ば諦めかけていただけに、うれしさはひとしおでした。

写真の風は菩提樹の葉で作られています。葉の形が美しく、乾いても反ったりしないので、風に適しているのだそうです。竹骨が用いられています。ワオ・バイ・ポーと呼びます。ワオは風の骨です。

